

環境建設工学科 在学生の声



浅岡 佑亮 (あさおか ゆうすけ)さん

出身：愛知県・美和高校

所属：修士2回生

就職：株式会社建設技術研究所 (内内定)

環境建設工学科土木工学コースの志望理由

大学受験をするにあたって、モノづくりに関わることを学んでいける大学に行きたいと考えていたのが一番の理由でした。その中でも、最も身近にあったインフラや自然環境など、土木に興味を持ったことがきっかけで、環境建設工学科を志望しました。

将来のキャリアパスについて

大学3年生の時、今しか出来ないことをしようと思い大学院へ進学することを決めました。就職先は公務員やコンサル、運輸(鉄道)など、さまざまな選択肢があり、とても悩みましたが、多くのインターンシップや業界研究を通じて、最終的には自分の関わりたいと思った業界に挑戦することができました。

大学生のライフスタイル

大学生は良くも悪くも、自由な時間が今までとは桁違いに多くなります。勉学に励むことも重要ですが、この自由な時間の使い方がとても大切だと思っています。

私が一番やって良かったと感じているのはアルバイトです。これまでは、自分と歳の近い人たちとの関わりがほとんどでしたが、アルバイトでは学生だけでなく、社会の様々な人達と知り合い、関わっていくので、とても良い経験になりました。

アルバイト以外でもサークルや研究室の友人や先輩，時には留学生と一緒に，遊んだり，飲みや旅行に行ったりもしました。



(くだらないこともたくさんしました)

留学生との交流

私が4回生から所属している研究室では，多くの留学生がいます。皆さんとてもフレンドリーで，一緒にサッカーなどのスポーツをしたり，毎日顔を合わせたりすることで，海外がとても身近に感じるようになりました。

研究のテーマ

私は、飛来塩分を気象データから推定し、橋梁の劣化速度との関係からアセットマネジメントを改善していくことを目的に卒業研究に取り組みました。飛来塩分とは海や海岸を起源とし、風的作用を受けて陸上部に運ばれてくる塩の粒子であり、構造物に付着することで塩害を引き起こします。この飛来塩分を推定する為に、私は新規のオリジナルプログラムを開発し、結果的に広範囲かつ高解像での推定が可能となりました。

環建ライフの良いところ

土木の中でも、インフラだけでなく、気象や自然など幅広い分野を学べる機会が多く、自分の興味を持ったことにチャレンジしていける環境がある点は、魅力の一つだと感じました。先生も熱意のある方ばかりで、やる気さえ持っていれば、どんどん成長していけると思います。就職活動のサポートが手厚い所も、学生としては嬉しい点でした。

受験生の皆さんにメッセージ

高校生のこの時期に自分の将来を明確に想像して進路を決められる学生は、決して多くはないと思います。「自分がなにをやりたいか分からない」「とりあえず大学には行っておこう」などと思っている人も必ずいるのではないのでしょうか。私はそれでも問題は全然ないと思っています。大学には皆さんが思っているよりも、様々な選択肢があり、ほんの些細なきっかけで自分のやりたいことが見つかったり、変わったりするかもしれません。もちろん大学進学だけが進路だけではなく、専門学校や就職など多くの選択肢を皆さんは持っています。次の進路へ進むことはゴールではなく、スタートだということだけは忘れずに1年間頑張ってください。

松山はとても住みやすいです！！

今頑張っていること

今年こそ開催されるであろう、学科内でのフットサル大会 (通称：岡村杯)に向けて練習に励んでいます。